

授業に関する面接について

教科名等	課題および児童（生徒）の実態・構想の条件等
<p>小学校</p>	<p>[テーマ（課題）] 小学3年生の算数科において、単元「わり算」（教科書 P51～66）を全11時間で扱う。学習計画は以下の通りである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>1～2時間目 分けられる数はいくつ 3～4時間目 1人分はいくつ 5～6時間目 2つの分け方 7時間目 0や1のわり算 8時間目 倍の計算 9～10時間目 答えが2けたになるわり算 11時間目 まとめ・振り返り</p> </div> <p>本時（1時間目）は、3年生「わり算」の最初の時間である。本時の授業を構想し、板書を活用して、説明しなさい。（教科書「小学3年上」 P51～66 教育出版）</p> <p><算数科における生徒の実態> ○ 児童数30人（男子14人、女子16人） ○ 2年生の「かけ算」の学習において、定着が十分でない児童が3名いる。 ○ 「自分の考えをノートに書いたり発表したりすることが得意」または「少し得意」と答える児童が11人/30人であった。一方、「苦手」「少し苦手」と答える児童は、19人/30人であった。</p>
<p>中学校 国語</p>	<p>第2学年において、「扇の的—『平家物語』から」、「仁和寺にある法師—『徒然草』から」を主な教材として、「古人の魅力を発見しよう」という単元を設定した。本単元は8時間扱いとし、単元を貫く学習課題（言語活動）を「この物語の登場人物に共感できると感じた理由を説明しよう」とした。前時までに「扇の的—『平家物語』から」、「仁和寺にある法師—『徒然草』から」の内容を大まかに捉え、本時では、登場する人物の中から自分が共感できる人物の言動に注目して、その人物の特徴について読み取る活動を設定した。次の時間には、その人物について考えたことを友達と説明し合う予定である。本時の授業を構想し、板書を活用して説明しなさい。 （教科書「国語2」 P151～P161 光村図書）</p> <p><国語科における生徒の実態> ○ 生徒は、小学生のころから、物語文の学習を通して、登場人物の相互関係や心情の変化を読み取る学習を重ねている。そのため、場面の展開や複数の言動、心情などの叙述と結び付けて、人物像を読み取ることに慣れている。しかし、時代背景と結び付けたり、場における言動の意味を考えたりする読み取りには課題がある。 ○ 古文については、1年生で「蓬萊の玉の枝—『竹取物語』から」、2年生で『枕草子』を学習し、古典作品に親しみを持っている。また、現代語訳や語注などを手掛かりに古典に表れたものの見方や考え方をすることも経験がある。</p>

<p>中学校 社会</p>	<p>[テーマ（課題）] 第3学年の公民的分野「C 私たちと政治（2）民主政治と政治参加」において、「地方自治と私たち」（教科書P.110-126）を取り上げ6時間で扱う。 第2時の「地方自治の仕組み」（教科書 P.112-113）の授業を構想し、板書を活用して説明しなさい。 (教科書「新しい社会 公民」p.110-126 東京書籍)</p> <p><社会科における生徒の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公民的分野の学習や現代社会への時事的な関心はあまり高くなく、社会的事象に関する個別の用語をそのまま覚える受け身な生徒が多い。 ○ 資料から多くの事実を見つけることはできるものの、それらの事実を根拠に思考・判断したことを説明したり議論したりすることを苦手とする生徒が多い。
<p>中学校 数学</p>	<p>[テーマ（課題）] 第2学年の単元「データの分布」（7時間扱い）において、四分位範囲や箱ひげ図を学習することで、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り、批判的に考察して判断する力を育成する。その際、必要なデータの収集、データの整理、複数の集団のデータの傾向を比較・読み取り、結果の考察という一連の活動を経験できるようにしたい。そこで、前述を踏まえて「データの傾向の読み取り方」（教科書p.202-205）3時間分の授業を見通して、教科書p.203の「Q」とp.204の「問2」を扱う1時間分の授業を構想し、板書を活用して説明しなさい。 (教科書「中学数学2年」 p.203-204 学校図書)</p> <p><数学科における生徒の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一つのデータから傾向を読み取る力については、小学校から経験しているため身に付いている。しかし、多様なデータを用いて多面的に吟味し、批判的に考察することは経験が少なく、苦手と感じている生徒が多い。 ○ 授業の様々な場面でコンピュータを使った経験があるため、基本的な操作は抵抗なく行うことができる。
<p>中学校 理科</p>	<p>[テーマ（課題）] 第1学年「音の性質」において、「音の大きさや高さ」を2時間で扱う。この2時間の授業を構想し、板書を活用して説明しなさい。 (教科書「理科の世界 1」P166~169 大日本図書)</p> <p><理科における生徒の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 既習事項や生活体験などと結び付け、意欲的に学習に取り組む生徒が多い。 ○ 観察・実験の目的意識が低く、見通しをもって取り組むことができない生徒がいる。 ○ 実験結果から根拠をもって説明することが苦手な生徒が多い。

<p>中学校 音楽</p>	<p>[テーマ（課題）]</p> <p>第3学年において、「楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わおう」という題材（2時間扱い）を設定した。第1時では、「ボレロ」の音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらから生み出される特質や雰囲気を感じ、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、言葉で説明したり批評したりする活動を行った。</p> <p>第2時（本時）では、繰り返し演奏されるリズムと2つの旋律、音色や強弱の変化を思考、判断のよりどころとし、音楽のよさや美しさを味わうことができるようにしたい。本時の授業を構想し、板書を活用して説明しなさい。</p> <p style="text-align: center;">（教科書「中学生の音楽 2・3下」P37～39 教育芸術社）</p> <p><音楽科における生徒の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 共通教材「花の街」を扱った題材では、詩の内容や曲想を感じ取って思考し、曲の背景との関わりを捉え、工夫して表現することができた。 ○ 感じ取った曲想について自分なりの評価ができるようになってきたが、他者と論じ合ったり、批評し合ったりする活動において、積極的に交流することのできる生徒は少ない。
<p>中学校 美術</p>	<p>[テーマ（課題）]</p> <p>第2学年2学期において、ポスターカラー、アクリル絵の具を使う表現として、「浜松の未来～心を動かすポスターデザイン～」という題材を設定した。本題材は10時間扱いとする。第1時では、作家や生徒が制作した作品などの特徴的なポスターの鑑賞を行った後に、美しく印象に残るデザインの創造的な工夫や、自分が表したいことについて考えた。</p> <p>第2時（本時）は、第1時の構想を基に小グループでの対話的な活動（友達との意見交換）を行った後、アイデアスケッチを描く活動を設定した。本時の授業を構想し、板書を活用して説明しなさい。</p> <p style="text-align: center;">教科書「美術2・3上 学びの実感と広がり」P40-41（日本文教出版）</p> <p><美術科における生徒の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 32人学級（男子17人、女子15人） この学級には、形や色彩などの変化を見分けたり、微妙な変化を感じ取ったりすることが苦手な生徒がいる。 ○ 美術科の授業に意欲的に取り組む生徒が多いものの、発想の場面において悩み、なかなか制作が進まない生徒が一定数いる。 ○ 1学期に「浮世絵はすごい」（教科書P24, 25）を扱い、制作者たちの意図や創造的な工夫について考える学習を行った。 ○ 「浮世絵はすごい」の学習後に教師が題材を振り返ると、端的に色彩や構図の効果について着目する生徒は多くいたが、作品の主題に迫ることで見方を広げられる生徒は半数ほどであった。そのため本題材では、伝える目的を考え、自分の主題を生み出すために必要な視点に気付かせたい。

<p>中学校 保体</p>	<p>[テーマ（課題）]</p> <p>第2学年において、器械運動のうち、跳び箱運動を10時間で扱い、単元を通して、基本的な技を滑らかに行ったり、条件を変えた技や発展技に挑戦したりしている。前時（第7時）までに、技ができる楽しさや喜びを味わいながら、自己の課題に対して練習を重ねてきた。本時（第8時）では、発表会に向けて技の完成度を高めるため、個人練習の工夫に加え、友達と交流する場を設定した。単元の終末を意識しながら、この本時の授業を構想し、板書を活用して説明しなさい。</p> <p><保健体育科における生徒の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2年生 男女共習 男・女32名 ○ 器械運動は、1年時にマット運動を学習している。 ○ 単元導入時に行ったアンケートでは、跳び箱運動が「好き」と回答している生徒は、8名。「嫌い」もしくは「苦手」と回答している生徒が8名。「どちらでもない」は16名いる。 ○ 見学者はおらず、全員参加できている。
<p>中学校 技術</p>	<p>[テーマ（課題）]</p> <p>第2学年において、「Cエネルギー変換の技術」を題材として設定する。始めにエネルギー変換の技術について学び、その後エネルギー変換の技術を活用した問題解決を行った。本時は、この題材の最後の授業であり、「これからのエネルギー変換の技術」を教材として、まとめの学習（1時間）を行う。</p> <p>この本時の授業を構想し、板書を活用して説明しなさい。ワークシートを使用すると想定する場合、ワークシートを黒板に書いてもよい。</p> <p>（教科書「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」P188～191 開隆堂）</p> <p><技術・家庭科（技術分野）における生徒の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 男子15人、女子15人、計30人の落ち着いた学級。 ○ 1年生で技術分野を初めて学び、知識・技能の習得や課題の解決策を構想する力には個人差があるため、一部の生徒のみが技術と社会とのつながりを意識できている。 ○ 技術の見方・考え方に気付いて、技術を評価しようとしている生徒は少ない。
<p>中学校 家庭</p>	<p>[テーマ（課題）]</p> <p>2年生3学期に、「C消費生活・環境」の消費生活の学習を、12時間で扱う。前時までに「消費生活としくみ」、「家庭生活における収入と支出」、「購入方法」、「売買契約」の学習を終えている。本時は「いろいろな支払い方法」を1時間扱いで学習する。本時の授業を構想し、板書を活用して説明しなさい。ワークシートを使用すると想定する場合、ワークシートを黒板に書いてもよい。</p> <p>教科書「技術・家庭 家庭分野」p. 238, 239（開隆堂）</p> <p><家庭科における生徒の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「A家族と家庭生活（1）」については、第1学年の最初に設定し、履修している。 ○ 「B衣食住の生活」は、2年生2学期までに学習済みである。 ○ 小学校家庭科で物や金銭の使い方と買い物について学習をしてきた。現金以外の支払い方法の経験は様々で、QRコード決済（スマホ決済）を普段から使用している生徒もあり、経験に個人差がある。

<p>中学校 英語</p>	<p>[テーマ（課題）]</p> <p>第1学年において、「Unit8 Getting Ready for the Party」の単元（教科書p118-129）を9時間で扱う。単元の終末には、「Tina に贈ったアルバムに載せたい写真のキャプションを書き、それをグループ内で紹介し合う」（教科書p126-127）という言語活動「書くこと」を設定している。第4時（前時）までにPart 1, 2 を扱い、現在進行形の肯定文・否定文及び疑問文を含む会話の内容をつかんだり、現在進行形を用いて簡単なやり取りをしたりする活動を行った。第5時（本時）では、これら既習の表現を実際のコミュニケーションにおいて活用させたい。本時の授業を構想し、板書を活用して説明しなさい。 (教科書「Here We Go! ENGLISH COURSE 1」 光村図書)</p> <p><英語科における生徒の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 男子15名、女子15名、計30人の学級。 ○ 英語を「話すこと」「聞くこと」については抵抗が少なく、活発に言語活動に取り組む生徒が多い。一方で、自分の思いを表現することに自信が持てなかったり、人と関わるのが苦手だと感じたりしている生徒も数名いる。 ○ 英語が好きだと感じている生徒は多いが、文法事項が定着しておらず、「話すこと」「書くこと」において、課題を抱えている生徒も半数程度いる。そのうちの数名は、「書くこと」に対する苦手意識が強く、書く活動においてほとんど取り組めないこともある。 ○ 語彙の定着に個人差があり、聞きたいことや言いたいことが英語で伝わりにくい場面が時々見られる。
-------------------	---

保健に関する面接について

<p>養護 教諭</p>	<p>[テーマ（課題）]</p> <p>◇ テーマ1（保健教育）</p> <p>中学校第3学年の保健体育科の保健分野（1）「健康な生活と疾病の予防」ア知識（ウ）「生活習慣病などの予防」の学習で、担当教師とティーム・ティーチングを行います。あなたは担当教師（T1）のアシスタント役（T2）となり、その授業に参画します。担当教師からは、特に、「がんの予防」について、指導してほしいと依頼がありました。養護教諭として、どのように参画しますか。配付した資料を参考にしながら、20分程度の指導時間を想定し、指導すべき内容を構想しなさい。</p> <p>◇ テーマ2（救急対応）</p> <p>昼休みに、運動場で遊んでいた5年2組の児童2名が、一緒に遊んでいたAさんが急に倒れたとあって、保健室に来ました。詳しい状況は分かりません。この後、あなたは、どのように対応をしますか。養護教諭に求められる行動を考えてください。</p> <p>また、Aさんへの対応が一段落した後に、Aさんが倒れる様子を近くで目撃していた3年生の女子児童が、呼吸が乱れた状態で、息苦しそうにしながら、一人で保健室を訪れました。女子児童は、息苦しさを、会話はできない状態です。面接委員をこの女子児童に見立てて、女子児童に声を掛けながら、呼吸を落ち着かせる指導をしてください。</p>
------------------	--